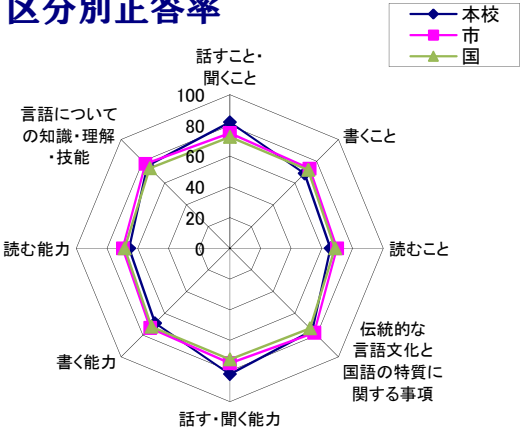


宇都宮市立清原東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

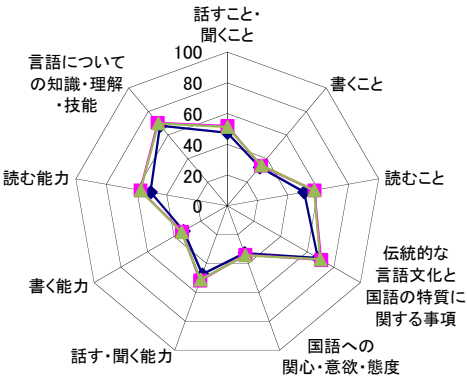
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	82.0	74.9	72.4
	書くこと	68.9	73.4	72.2
	読むこと	65.6	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.8	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	82.0	74.9	72.4
	書く能力	68.9	73.4	72.2
	読む能力	65.6	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	75.8	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	47.5	51.9	51.2
	書くこと	32.8	34.0	34.4
	読むこと	50.8	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.0	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	32.8	34.0	34.4
	話す・聞く能力	47.5	51.9	51.2
	書く能力	32.8	34.0	34.4
	読む能力	50.8	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	68.0	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○国語に関するほとんどの質問において、肯定的な回答の割合が全国平均と比べて高い。
●「読書が好き」と回答している児童の割合のみ、全国平均を下回っている。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率を9.6ポイント上回った。また、立場を明確にして、質問や意見を述べる設問では、4.5ポイント上回った。 ●目的に応じて、話し合いの観点を整理する設問では、全国の正答率を下回り、正答率は45.9%だった。	・話し合いでは、自分の立場や話し合いの観点を明確にしたうえで自分の意見を述べたり、自分の意見と比べながら集中して相手の意見を聞いたりすることを意識して行う。
書くこと	○仮定の表現として、適切なものを捉える設問では、全国の平均正答率を上回り、正答率は83.6%だった。 ●二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く設問では、全国の平均正答率を7.1ポイント下回った。	・自分の意見を明確にした上で、決められた文字数で書くなどの条件に合わせて書く活動に慣れるよう機会を増やす。
読むこと	○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える設問では、全国の平均正答率を4.8ポイント上回り、正答率は85.2%だった。 ●課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことを問う設問では、全国の平均正答率を10.3ポイント下回った。	・物語や説明文を扱う学習では、書かれている事柄についての関連を考えたり、必要な事項を見つけられるようにしたりする。調べ学習などでも、目次や索引を活用し、短時間で本の中の必要な部分を見つけられるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○故事成語の意味と使い方を理解しているか問う設問では、全国の平均正答率を32.1ポイントと大きく上回り、正答率は、82.0%だった。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字の読み書きについては、全体的によく書けていたが、「勢い」の読みの正答率は低かった。	・既習の漢字の読み書きについては、小テストや50問テストを活用し、反復練習をして定着を図る。